

令和3年度事業報告書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

1 事業の成果

令和3年度も、コロナ禍で振り回された1年であったが、路面電車駅前乗入れ、県庁通り1車線化などラクダが27年前の設立当時から取り組んできた岡山市の事業は着手された。吉備線LR T化はコロナで中断したが、路面電車環状化は進展。RACDA瓦版ではこうした動きが地価に反映した事を報告した。コロナ禍でも市議会同時中継の傍聴を行い、市議会議員などとの情報交換も活発化。毎月の京橋朝市の出前公聴会、瓦版はほぼ継続し、カラー化して配布先を拡大、市民啓発に努めた。

2018年の両備バス大幅路線廃止と無改札スト以来、危惧していた路線廃止がコロナで大きく顕在化。特に2022年の瀬戸芸に向けて、犬島へのバス廃止が決まり、既にこの事態を予測し、瀬戸内市への連携を呼びかけ、さらに備前市の市長・副市長にも面談して、赤穂線沿線全体の交通組み換えを模索した。また新設された西大寺活性化協議会に働きかけて「犬島アートバス」の企画を進め、犬島の福武財団や市議とも協議して、バスダイヤ便数を提案。路線バス復活は困難だが、岡山市の観光・交通・東区ともコンタクトを取り、交渉を継続している。この具体的協議を通じて、様々な制度上の問題点も浮き彫りになった。

2019年12月の瓦版197号で「電車バス、無料化で街を再起動」と熊本市の取り組みを紹介したが、毎週の全国Zoom会議は49回開催し、コロナ下での支援メニューの一つとして全国的に情報を共有することができ、結局岡山市ではバス路面電車無料デーとして年末2回実施され、予想以上の効果があり、同時期に実施された高知市の事例と同様に注目され、来年度は札幌市でも実施される方向である。今まで公共交通を利用しなかった自動車ユーザー、子連れ、子供同士のお出かけも顕著で、ジリ便の公共交通の可能性を明らかにすることができた。

全国ネットワークの仲間にも開放したZoom会議では、大学教授、国会議員から市民団体学生までのべ1088名が参加し、RACDAホームページをほぼ毎週更新し、全国路面電車ネットワークのプラットフォームとして機能。コロナ禍の公共交通事業者影響調査、公的経済支援状況調査などを行って日々更新し、アクセス数は平均毎日130人、最大400人がアクセスした。全国自治体の支援メニューは国交省でも作成するようになり、各地の自立した取り組みの拡大に寄与した。議論の中で、これまで日本の公共交通は民営主体で制度設計されているが、特に岡山程度の人口下位の政令市や中核市では、人口増加する目安の1時間4本レベルを維持できなくなる事例が多発するものの、JRや路線バス会社に働きかけて維持する権限や財源がないことが指摘され、EU基準のよるPSOというサービス水準入札方法を日本でも取り入れるべきだとの議論に集約された。

前前年の全国バスマップサミット岡山以後の展開としては、岡山県バス情報のオープンデータ化講習会の成果が出始め、瀬戸内市等では公開が始まった。毎週のZoom会議の前半はバスマップ情報交換会として若手の参加が増加。このZoom会議ではバスの専門家と鉄道の専門家の交流も生まれ、全国レベルの制度財源検討会Zoom会議や、第18回全国バスマップサミット滝沢などの話題提供に生かされた。

毎年の路面電車祭り、鉄道記念日イベントも昨年同様中止せざるをえなかった。

収益事業である夏期間のビアガー電、秋からのワイン電車はコロナ禍の影響で、全面中止。毎年の収益事業として、会の運営にも重要な影響が出ている。人的蜜を演出するイベントであり、コロナ禍の完全な終息以外に解決できない。

会員数は実活動の低下も影響して、79名とほぼ維持。Zoom会議の活性化で活動は活性化した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出金額 (千円)
公共の交通を充実させるための、公共交通をツールとしたまちづくり、公共交通の拡充・活性化、自転車の有効利用の推進、公共交通に関する調査、企画、調整、仲介等の諸事業	JR 吉備線 LRT 化推進事業	通年	JR 吉備線沿線を主とする岡山、総社市内	150 名	JR 吉備線沿線住民を主とする岡山・総社市民など不特定多数	145
	路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	通年	岡山市内	100 名	岡山市民、路面電車利用者など不特定多数	8
	吉備線路面電車直通推進事業	通年	岡山市、JR 吉備線沿線	50 名	JR 吉備線沿線住民、岡山市民など不特定多数	0
	バスマップ作成配布事業	通年	岡山市・倉敷市	200 名	岡山・倉敷市民、バス利用者など不特定多数	0
	バス停アダプト事業（バス停留所環境整備）	通年	岡山県全域	2 名	岡山県民全般など不特定多数	0
	バス活性化プラン作成事業	通年	RACDA 事務局を中心に岡山県全域	400 名	岡山県民全般など不特定多数	71
	市民向け公共交通活性化・交通井戸端会	通年	岡山市を中心に岡山県全域	500 名	岡山県民全般など不特定多数	109

	議 「路面電車の日」実施事業	6/10	岡山市内路面電車沿線	5名	岡山市民全般など不特定多数	46
	ワイン電車 (車内でワイン等を提供する路面電車の運行)・ビアガー電 (車内で生ビール等を提供する路面電車の運行)等実施事業	通年	岡山市内路面電車沿線	0名	岡山市民全般など不特定多数	3
	自転車有効利用推進事業 (交通手段としての自転車の活性化、有効利用を推進する事業)	通年	岡山県全域	20名	岡山県民一般など不特定多数	0
	各地路面電車 地方鉄道 存続・電車等保存運動支援事業	週1	全国の該当地域	1088名	該当地域住民など不特定多数	199
地球温暖化防止に関する諸事業	岡山地区移動発生源温暖化ガス減ロードマップ立案作成事業	通年	RACDA 事務局を主に岡山市内	10名	岡山県民全般など不特定多数	0